

## コグニザント、TriZetto Unify を AI エージェント向けに開放 患者への迅速な医療提供を支援

コグニザント株式会社（本社：米国ニュージャージー州、CEO：ラヴィ・クマール S 以下、コグニザント）は、米国のヘルスケア業界において長年課題となっている事前承認（Prior Authorization）業務の効率化に向け、AI エージェントの活用を推進しています。新たに導入されたヘッドレス API モデルにより、AI エージェントは、保険者（ペイヤー）と医療提供者（プロバイダー）のワークフローをつなぐコグニザントのプラットフォーム「TriZetto Unify」と直接連携できるようになります。電子事前承認（Electronic Prior Authorization）は、このモデルを通じて提供される最初のソリューションであり、既存顧客向けに展開された「TriZetto Assistant」および「TriZetto Autonomous Workflow Agents」に続くものです。

「これは、当社のヘルスケアプラットフォームを AI エージェントに対応させるための第一歩です」と、コグニザントの AI プロダクト&プラットフォーム部門のプレジデントであるブラサド・サンカランは述べています。

「AI エージェントは、企業の業務プロセスにおいて、人間とともにさまざまな業務を担う存在になりつつあります。特にヘルスケアのような規制の厳しい業界では、適切なガバナンスや監査機能に加え、業界標準の医療データ連携プロトコルに対応したプラットフォームが不可欠です。今後、TriZetto Unify のプラットフォーム戦略のもとで開発されるすべてのソリューションは、AI エージェントが利用することを前提に設計されます。」

事前承認は、米国のヘルスケア業界において、患者が必要な医療を受けるまでの過程における大きな障壁の一つとなっています。米国医師会（American Medical Association：AMA）が実施した最新の調査によると、医師の 95%が、事前承認によって必要な医療へのアクセスが遅れていると回答しています。また、医師とそのスタッフは、事前承認の申請手続きに平均して週 13 時間を費やしています。<sup>1</sup>

AI エージェントが企業の業務プロセスにおいてより大きな役割を担うようになる中、規制対象システムへの適切なガバナンスのもとでのアクセスが求められています。同時に、医療分野の規制当局は、事前承認ワークフローの迅速化と自動化を進めています。米国の公的医療保険制度を所管する CMS（Centers for Medicare & Medicaid Services）が策定した「CMS Interoperability and Prior Authorization Final Rule（医療データの相互運用性および事前承認に関する CMS 最終規則）」のもと、保険者は 2026 年から新たなコンプライアンス要件への対応が求められ、2027 年には電子事前承認 API が義務化されます。

「ヘルスケア業界の保険者と医療提供者は、医師が担うべき臨床上の判断を損なうことなく、管理業務にかかるコストの削減を求められています」と、コグニザント米州プレジデントのスーリヤ・グマディは述べています。「事前承認は、そのような課題が最も顕著に表れている領域の一つであり、AI エージェントは、臨床医の判断を必要としない業務を担うことができます。TriZetto Unify を AI エージェントに対応させることで、適切なガバナンスと必要な監督体制のもと、責任ある形で大規模な業務効率化を実現します。」

TriZetto を利用する保険者および医療提供者にとって、AI エージェントは、特に負担の大きい管理業務プロセスの効率化を支援します。これらの AI エージェントは、コンプライアンス要件に準拠し、人による監督のもとで運用される一方、臨床上の判断は引き続き医療従事者が担います。これにより、患者は必要な治療に関する判断をより迅速に受けられるようになります。

電子事前承認は、プラットフォームの機能をユーザーインターフェースを介さずに独立した API として直接利用できる、TriZetto 初の SaaS ソリューションです。同じ機能を、人が利用するアプリケーション、自動化されたワークフロー、さらには AI エージェントによる業務処理に活用することができます。これは、開発者の間で「ヘッドレスモデル」と呼ばれるアプローチです。

今回のリリースでは、HL7 FHIR（医療データ交換の国際標準規格）の相互運用性仕様に準拠した業界標準の 3 つの API を電子事前承認に追加しました。これらの API は、事前承認が必要かどうかの確認、必要な書類の特定、申請の提出という、事前承認プロセスの主要な 3 つのステップをサポートします。

事前承認は依然として医療提供者にとって根深い課題であり、治療開始までの遅れやスタッフの疲弊を招く要因となっています。特に複雑なケースでは、最高医療責任者や看護師ケースマネージャー（患者ごとの治療やケア全体を調整・管理する看護師）が、FAX や電話、さらには段階的な調整に対応せざるを得ません。AI エージェントに対応した API アクセスにより、こうした初期調整を迅速に自動化できるため、医療従事者は臨床的な判断が求められるケースに専念できるようになります。

TriZetto が長年培ってきた保険者と医療提供者をつなぐ接続基盤と Unify プラットフォームを組み合わせることで、コグニザントは複数の保険者および医療提供者を横断的に支援できる独自の強みを有しています。これは、単一企業向けのソリューションでは容易に実現できないものです。さらに、新たな API は規制要件への対応にとどまらず、AI エージェントへの対応を前提として設計されています。

今回のリリースでは、TriZetto の保険者と医療提供者をつなぐ接続基盤をさらに強化し、既存の連携機能に加えて AI エージェント向けの接続経路を追加しています。また、AI システムと外部アプリケーションやサービスとの連携を可能にする新たな標準規格である Model Context Protocol (MCP) にも対応しています。さらに、TriZetto が長年にわたり推進してきたオープンアーキテクチャを SaaS プラットフォームおよびエコシステム層にも拡張することで、顧客やパートナーによる連携機能の構築を支援します。

TriZetto のプラットフォームは、米国で 2 億人以上の医療保険加入者を支援しており、請求処理、被保険者資格確認、事前承認、支払い適正化などの業務を通じて、年間 5,000 億ドルを超える医療費を処理しています。コグニザントは今後 1 年間を通じて、TriZetto Unify のロードマップ全体にわたり、AI エージェントに対応した機能の展開を進めていく予定です。

この取り組みは、AI ソリューションを構築するコグニザントの戦略の一環です。コグニザントは、企業が AI の実験段階から本格運用へと移行できるよう、利用するプラットフォームを設計段階から AI エージェントに対応させることで支援しています。

※ 1. 2025 AMA Prior Authorization Physician Survey (事前承認に関する 2025 年医師調査)、米国医師会 (American Medical Association、2026 年)。詳細は米国医師会 (AMA) の[ウェブサイト](#) (ama-assn.org) をご参照ください。

### コグニザントについて

コグニザント (NASDAQ: CTSI) は、AI Builder およびテクノロジーサービスプロバイダーとして、お客様にフルスタックの AI ソリューションを構築することで、AI 投資と企業価値を結び架け橋となっています。業界、ビジネスプロセス、エンジニアリングに関する当社の深い専門知識を活かし、組織固有のビジネス環境をテクノロジー・システムに組み込みます。これにより、人間の可能性を最大限に引き出し、確かな成果を実現するとともに、急速に変化する世界においてグローバル企業が常に一歩先を行くための支援を行っています。

詳細については、[www.cognizant.ai](http://www.cognizant.ai) をご覧いただくか、@cognizant をフォローしてください。

※本リリースは US 本社の [Faster decisions, faster care for patients: Cognizant opens TriZetto Unify to AI agents](#) を翻訳したものです。

コグニザントジャパンの詳細は下記ページをご覧ください。

<https://www.cognizant.com/jp/ja/about-cognizant>